

Cloudnetを利用した実測ヒートマップ入門



- 01 Cloudnetにログインアカウントを作成
- 02 ヒートマップの作成

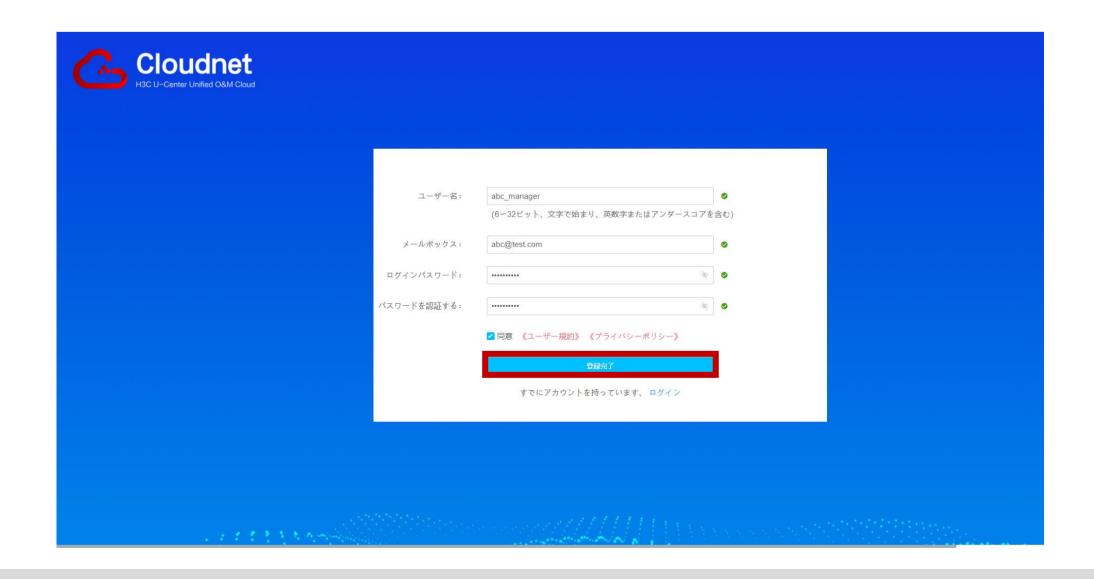
Cloudnetにアクセスします

https://oasiscloud.h3c.com/にアクセスします



アカウントを持っていない方はアカウントを作成してください

アカウント作成に必要な項目を入力して「登録完了」をクリック



アカウント登録完了をクリックすると確認のメールが届き、リンクをクリックしてアカウントが有効になります

差出人: <u>cloudnet@oasisinfo.h3c.com</u>

日時: 2023年1月19日 10:31:09 JST

宛先: abc@test.com

件名: New H3C Cloudnet Platform

Email Binding

Click here to activate account

Effective within 24 hours, Please

activate as soon as possible!



- 01 Cloudnetにログインアカウントを作成
- 02 ヒートマップの作成

ヒートマップ作成手順

手順1:ヒートマップを作成するブランチ > サイトを選択します

手順2:スマートO&M > Area Analysisのメニューを選択します

手順3:エリア詳細>+追加 によりエリアを追加します

手順4:バインドされていないAPをバインドされたAPの領域に移動します

Area O&M

手順 5: Area O&Mメニュー 🔗 🖰 🖂 🔀 を選択します

手順 6: Edit Modeにします Edit Mode:

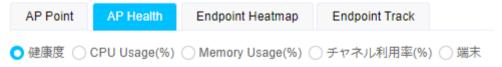
Edit Mode

手順7:図面をアップロードして図面の実測の縦、横の長さを入力します

Set Background and Site Scale

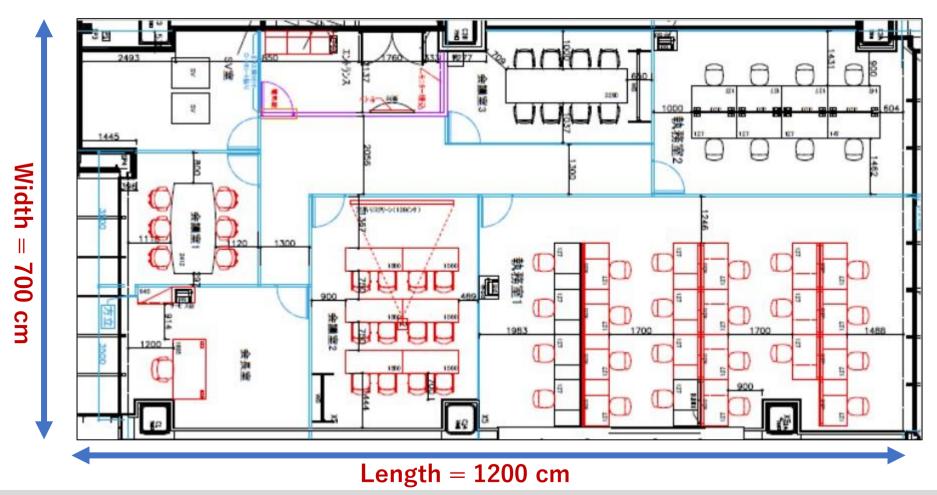
手順8:図面上に現れたバインドしたAPを図面上の正しい位置へ移動

手順9:AP Health, Endpoint Heatmap, Endpoint TrackメニューでAPの状態を確認します



最初にフロアーマップを用意してください

フロアーマップは.jpg、.gif、.bmpのファイルを用意してください。なお、全体の背景は白にしてください。 それ以外の色ですと、シュミレーション結果で着色された色との区別がつきづらくなります。図面はこの 見本のように図面全体の縦、横の寸法が明確である必要があります。



追加するエリアに名前を付けます

Area Analysis > エリア詳細 > +追加 > エリア名



エリアが作成されました

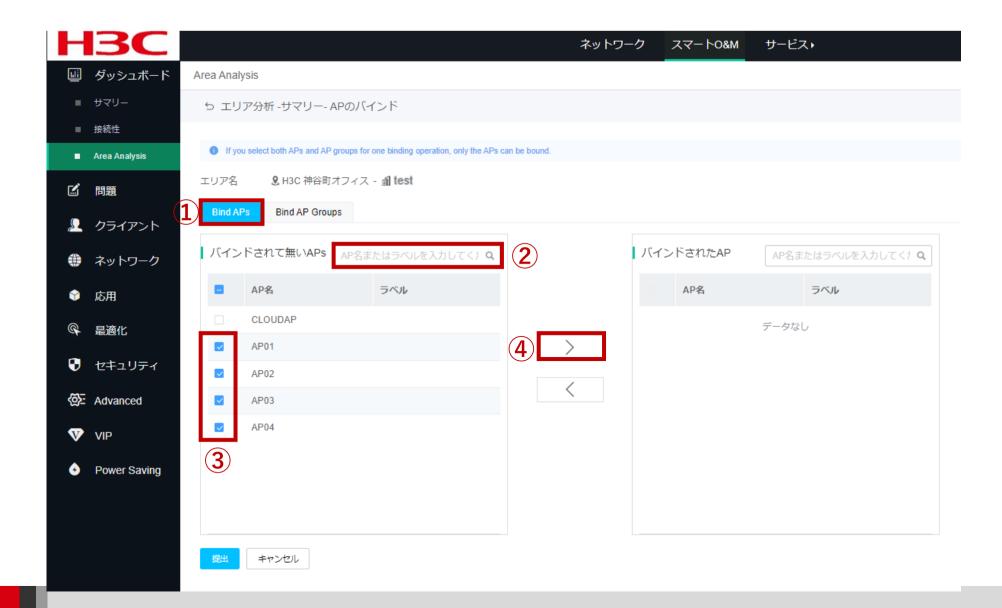


エリアが正常に作成されました。今すぐエリアにAPを追加しますか?

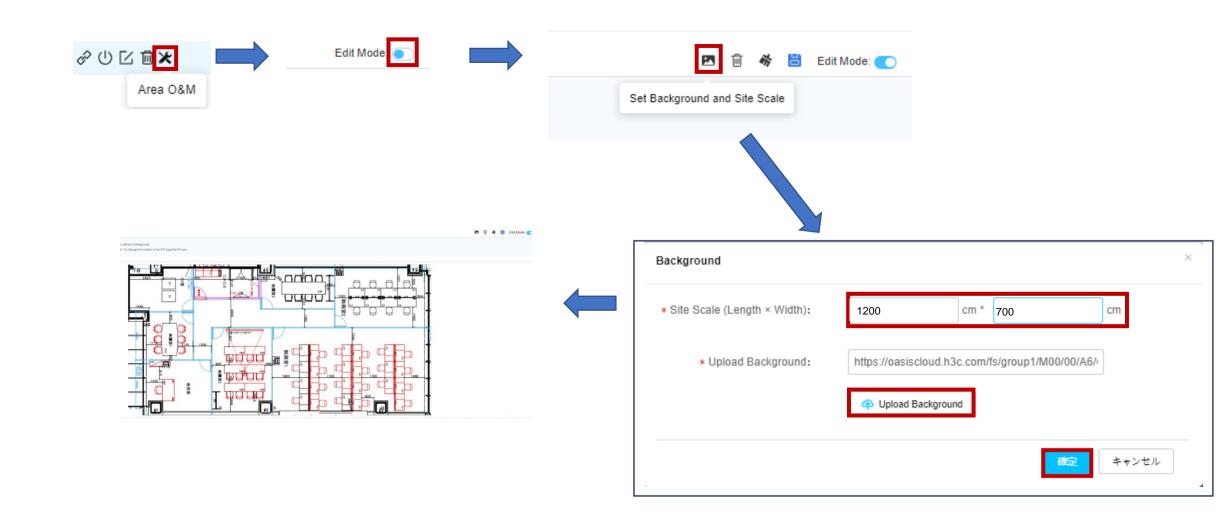


キャンセル

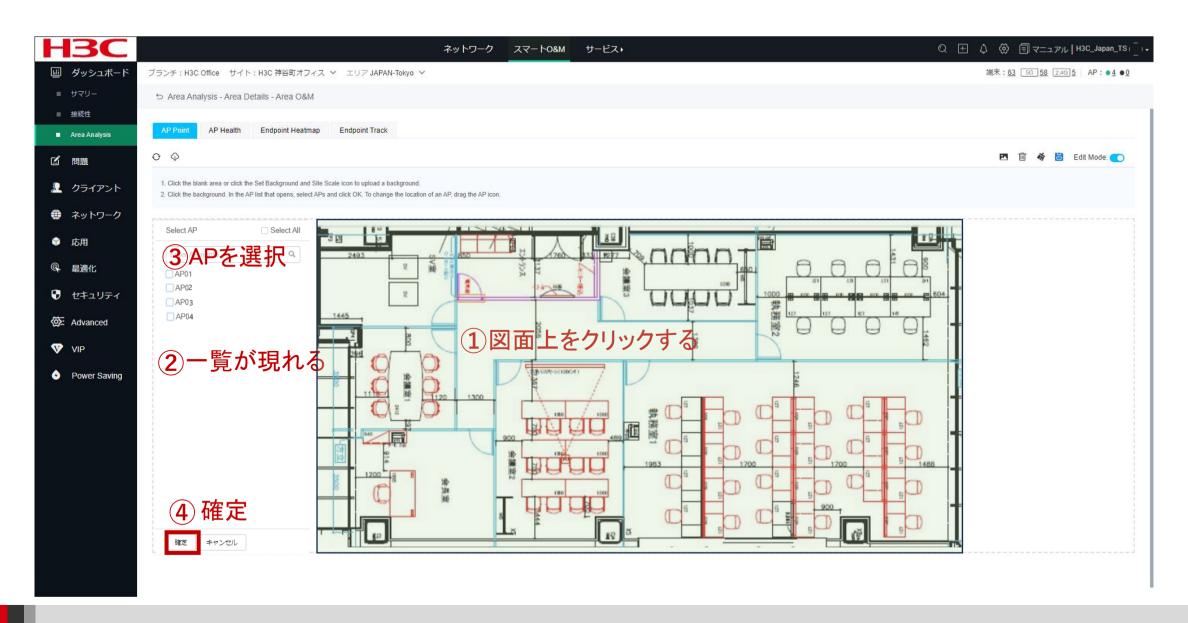
APをバインドします



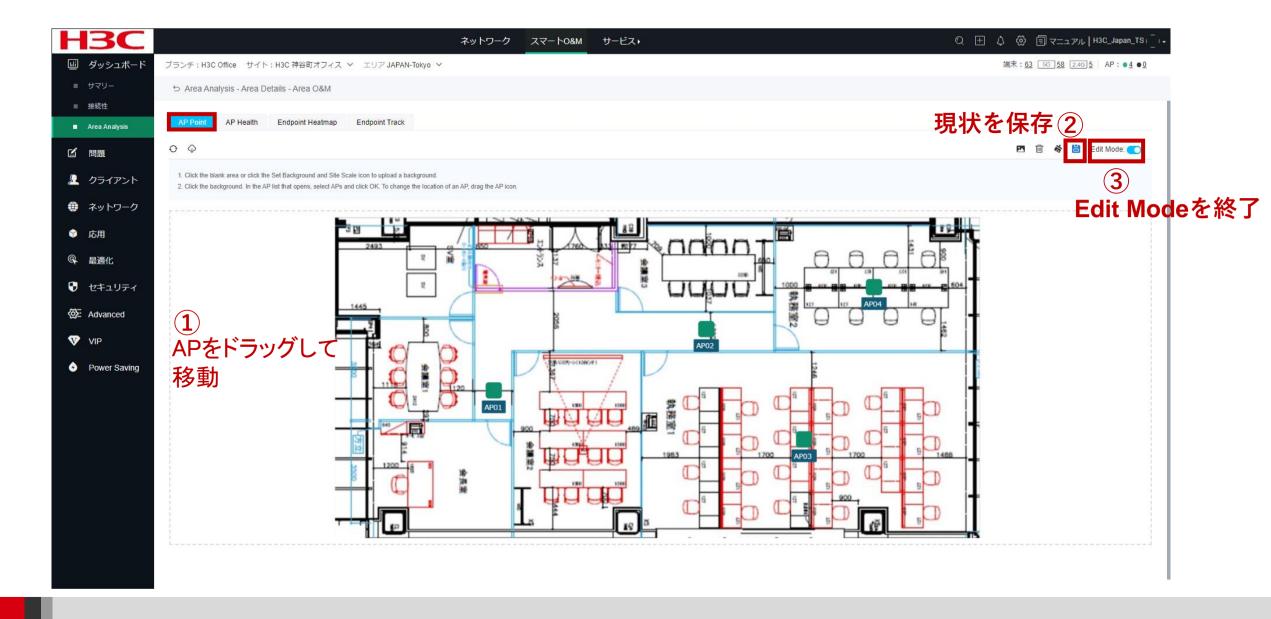
図面の入力とバインドされたAPの図面上の実際の位置への移動



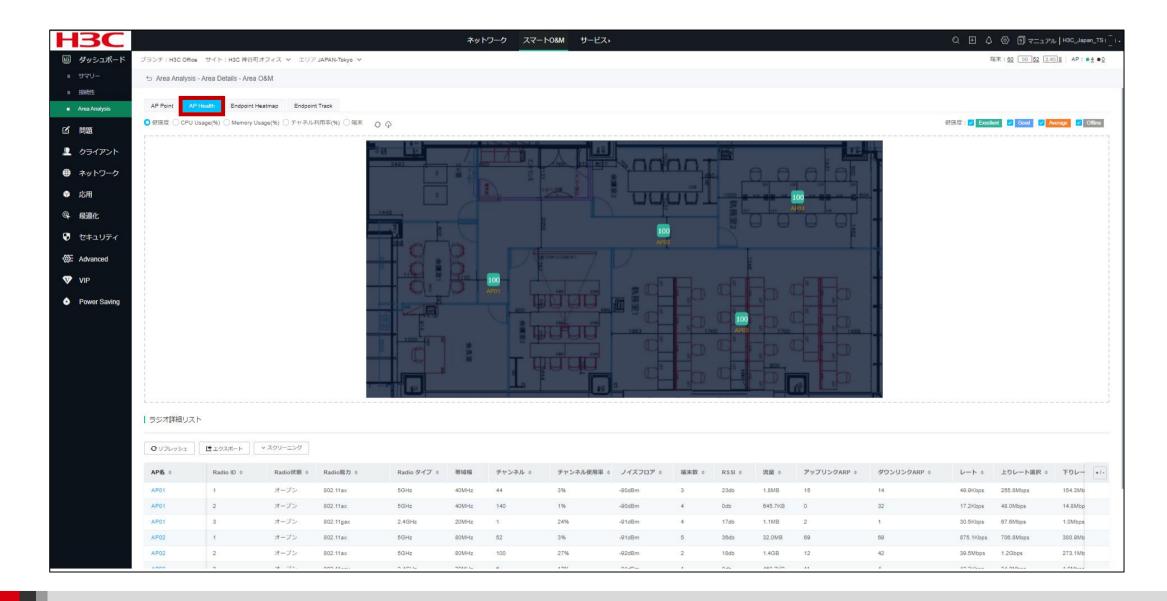
AP Point(バインドしたAPを図面上で実際の場所に移動)



AP Point(バインドしたAPを図面上で実際の場所に移動)



AP Health(健康度、CPU使用率、メモリー使用率、チャネル利用率、端末) 15

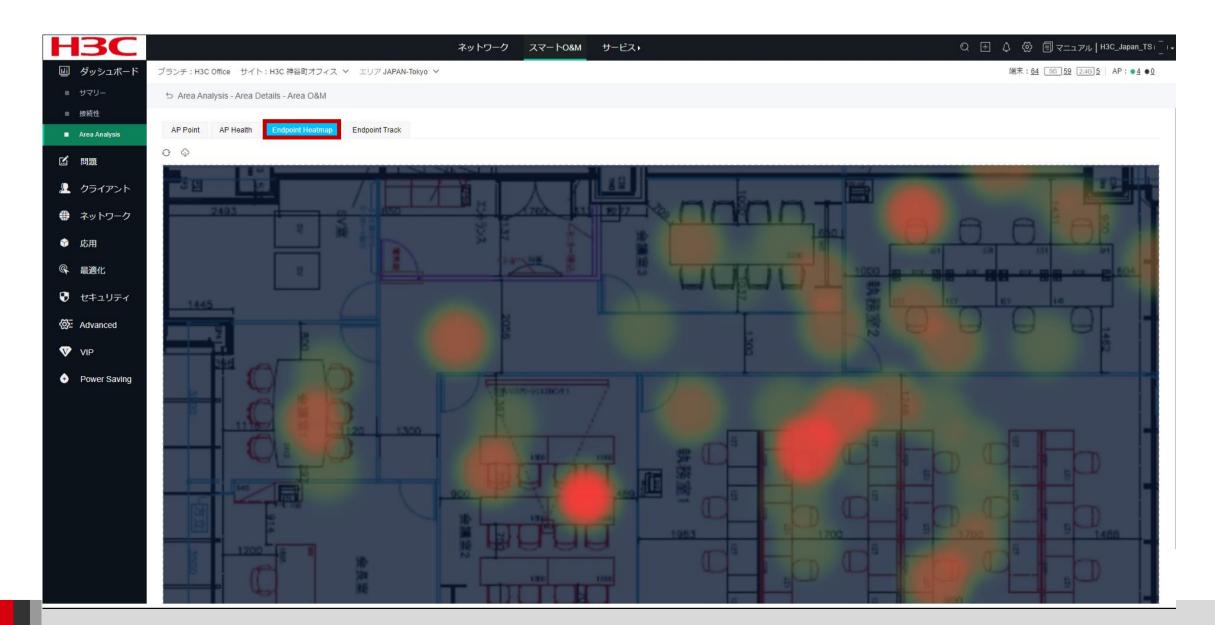


Endpoint Heatmap

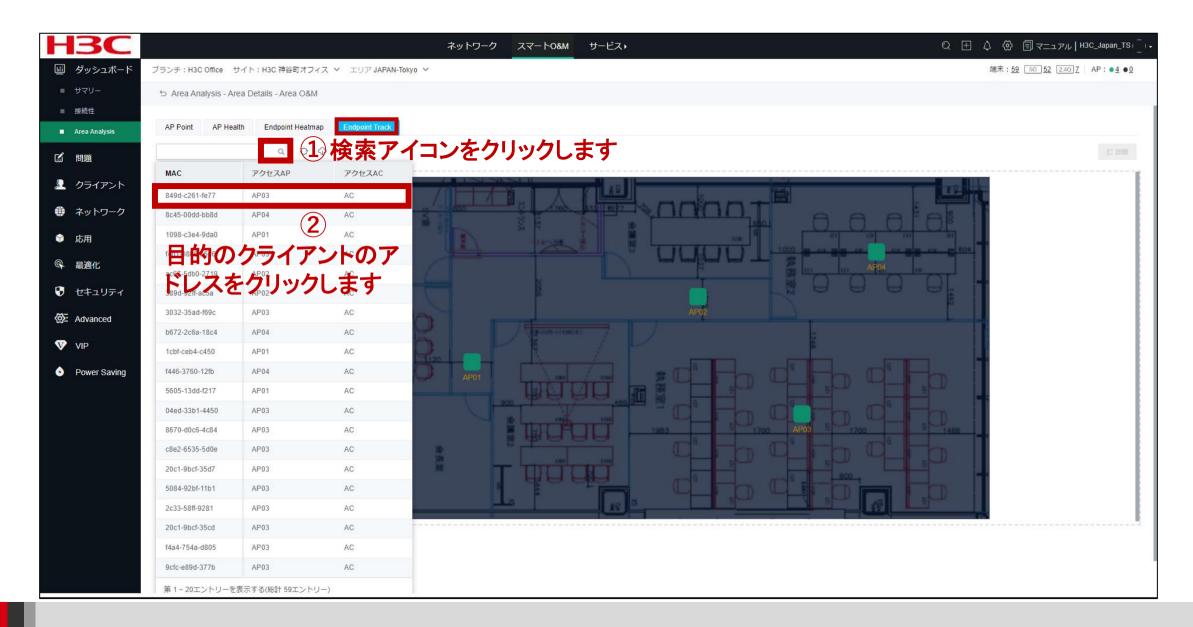
Cloudnetでは、ヒートマップをリアルタイムで表示するものではありません。 一定時間の実測データを集計してマップ上にグラフィカルに表示します。

利用方法としては、例えば1時間ごとのクライアントの多く集まる場所、どれくらいアクセスが多いのか、また、収集されたクライアントがローミングしていれば、どのように移動するかなどを把握するのに役立ちます。

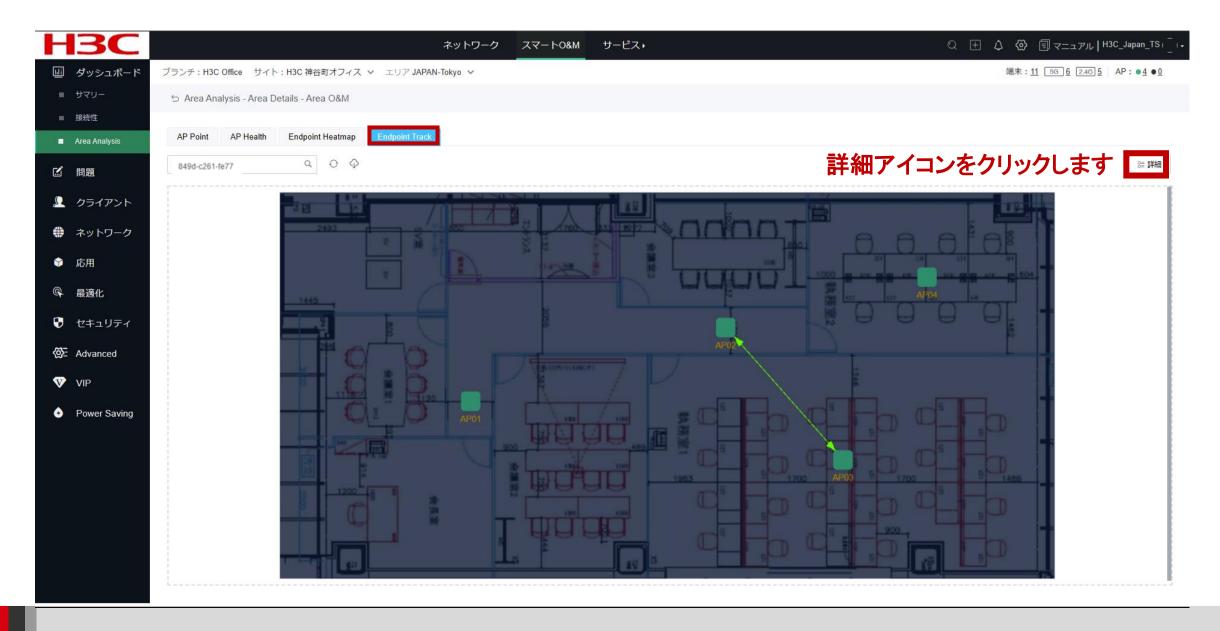
Endpoint Heatmap



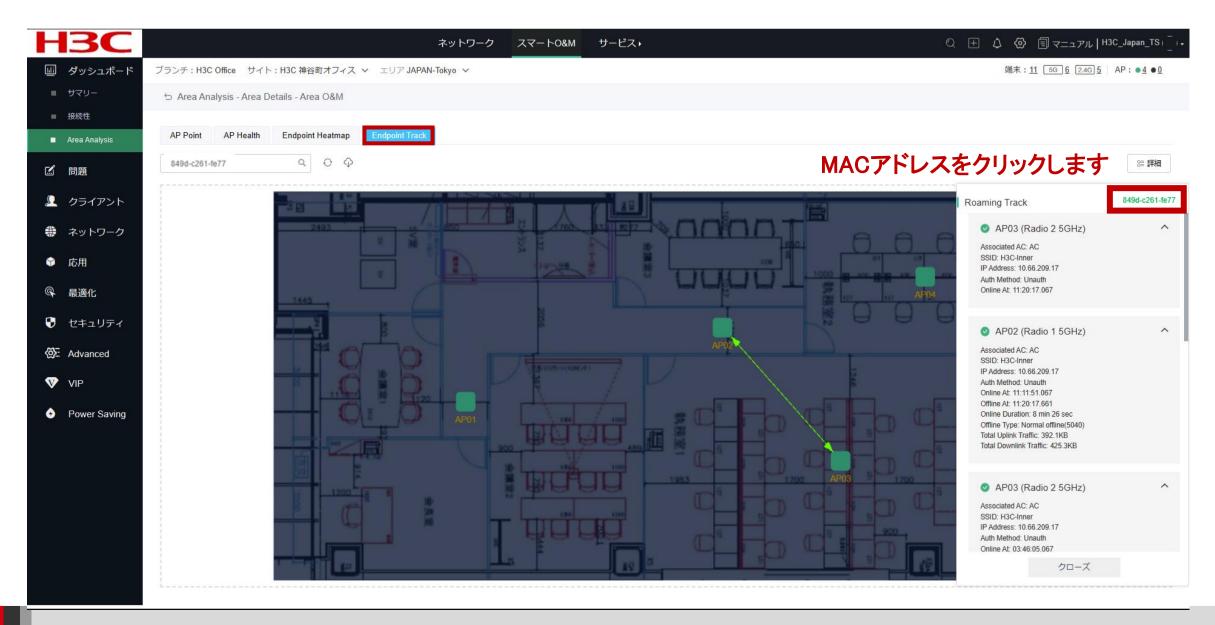
Endpoint Track



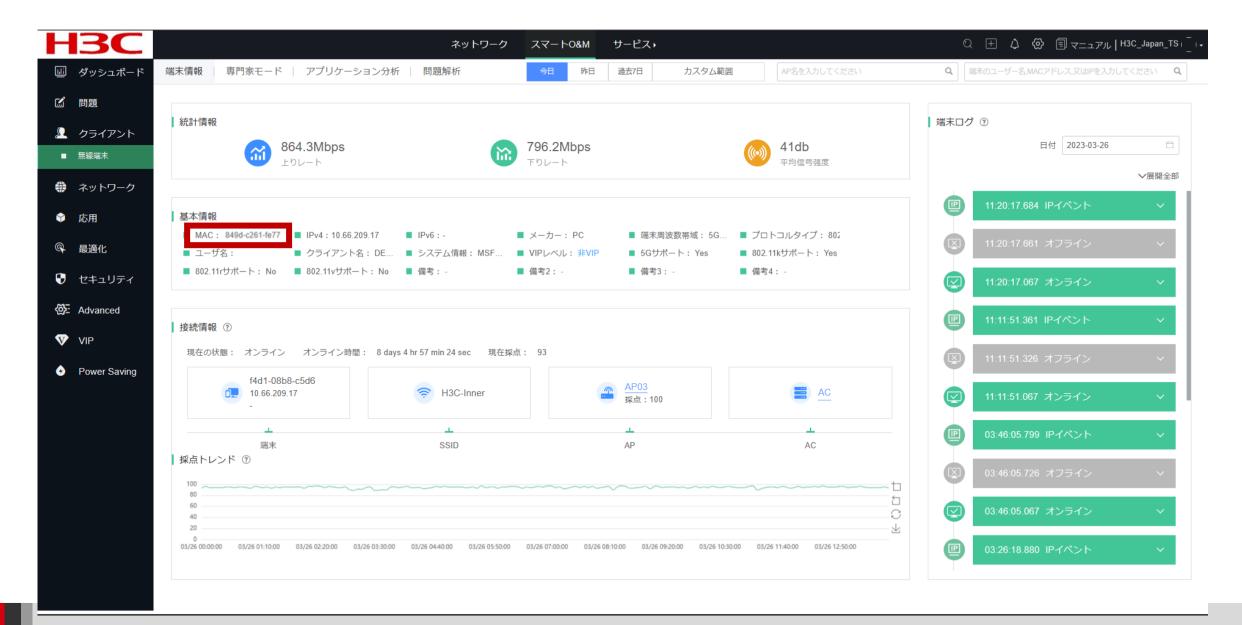
Endpoint Track(クライアントのローミング履歴を表示します)



Endpoint Track(クライアントのローミング履歴を表示します)



Endpoint Track(クライアントの端末情報を表示)



H3C

www.h3c.com